

地域おこし協力隊 マンスリーレポート

2025年7月号

製材工場の視察

栃木県矢板市にある株式会社トーセンの製材工場を視察しました。この企業は、藤岡市の県産材加工協同組合の運営にも携わっており、全体で年間約40万立方メートルもの丸太を取り扱っている製材会社です。

トーセンでは「母船」と呼ばれる木材流通の拠点を整備しています。拠点には、15機の乾燥機があり、各地の製材所から集めた大量の木材を乾燥させ、仕上げ加工し、出荷しています。このようなシステムを「母船式木流システム」と呼び、一連の流れを作ることで、作業にかかるコストを削減しているそうです。



15機の乾燥機が並ぶ



フィンガージョイント加工の間柱



おが屑を利用した木質ペレット

また、一般的にはチップにされる不良材でも、使える部分は板材として製材したり、山に残置される木の根本の部分も買取り、フィンガージョイントという加工方法で間柱に加工するなど、「木を無駄なく使う」ことに重点を置いていました。さらに、製材の過程で排出されたおが屑などは、木質ペレットに加工して活用しているそうです。

無駄なく木を使うことは、収益を高め、環境にも良い影響を与えます。しかし、現状では集材にかかるコストの問題から山に切り捨ててしまう「もったいない木材」がたくさんあります。先祖が大切に育てた木を、無駄なく使うことは今を生きる私たちの責任です。日本の豊富な森林資源を守り、未来に受け継いでいくためには、生産者だけでなく、私たち消費者も森林や木材に関心を向けていく必要があります。

【問い合わせ】

藤岡市 森林課 | 〒375-8601 藤岡市中栗須327 | 0274-40-2316